

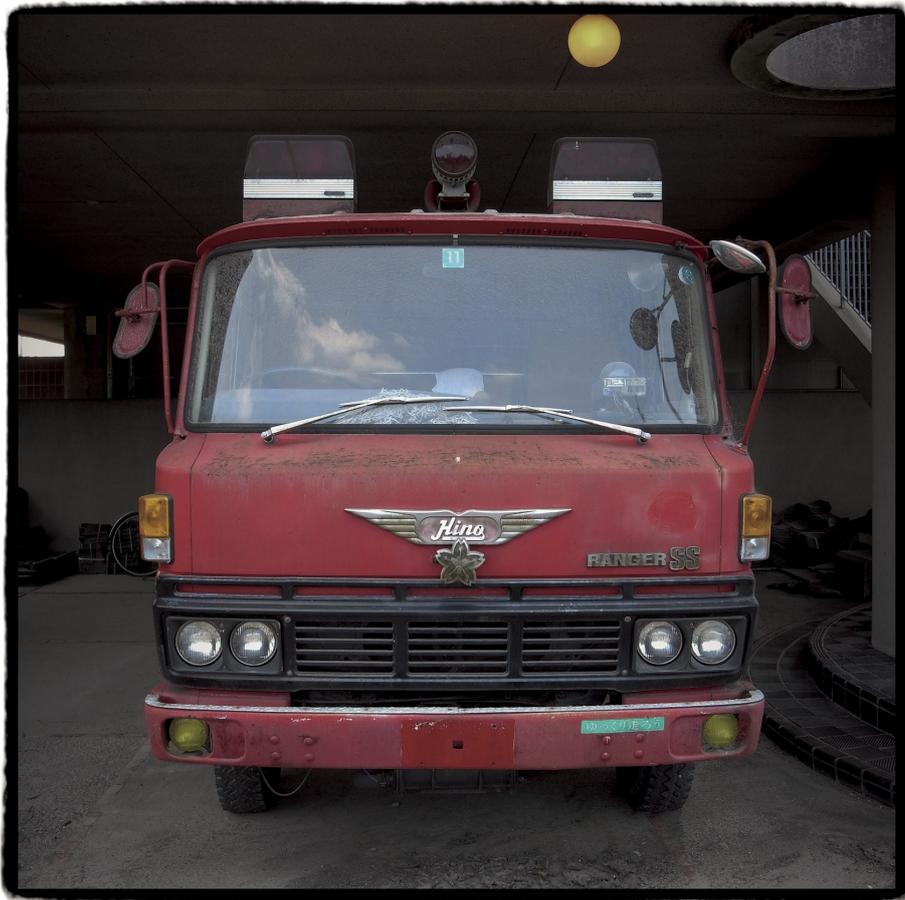


第十二章

Face to Face

# 1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata



**私**と夫は、慌ただしくセッティングされていくライブ会場を抜け出すことにした。「次の撮影までの間、少し気分転換がしたい」と夫が言ったからだ。なるべくなら静かな場所がいい、と探してみるが、そんな場所はなかなか見つかりそうにない。

ライブ会場は、桑名市にあるナガシマスパーランドというかなり広い遊園地内に設営された特設ステージなのだ。園内は週末ということもあり、結構な賑わいを見せている。

「仕方ない、遊園地の外へ出よう」ということになり、夫は出口に向かう。一步、遊

園地を出ると、背中越しに聞こえていた喧嘩がまるで別世界の出来事のように感じられた。

大きく伸びをした夫がふらっと歩き出したかと思ったら、もう「何か」に目を奪われていた。それもフォトグラファーの習性か…。

夫が目を奪われたのは、古めかしい建物の車庫に止まっていた一台の消防車だった。それは錆と汚れでくすんでいて、ナンバープレートさえない。だが、どっしり構えたその様子に、哀れな印象は微塵もない。所々にある傷は、まるで深く刻まれたシワ

のようで、年月を重ね、長い人生を生きてきた人間の顔のようにすら見える。

消防車と向かい合った夫を見て、私はなんだか可笑しくなった。向かい合う彼らが、話をしているように見えたからだ。いや、まるで夫が彼に何かを諭されているようだった、と言った方が近いかもしれない。

夫は一枚だけ静かにシャッターを切ると、「お疲れ」とでもいうように彼の肩を優しく叩いた。職業柄、年輪を重ねた多くの顔に出会ってきた夫だが、「本物の顔」と出会えることは、そうはない」と言った。

## Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラビアなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>